



学校だより  
5月号

# かわかみ

令和5年4月28日

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2

電話 811-9345 FAX811-5961

## かかわり合いを通して、「笑顔」の花を咲かせる

学校長 堀部 尚久

やわらかい若葉の緑が目映え、さわやかな風が肌で感じられる今日この頃です。令和5年度も早々と月が経とうとしています。気持ち新たに歩み始めた子どもたちにも、落ち着きが見られるようになってきました。教室から聞こえる元気で明るい声からも、この春入学した1年生も集団生活に慣れてきたことが直に伝わってきます。1年生に限らず、登校時に側に近寄って挨拶したり声を掛けてくれたりする子どもや、廊下ですれ違ったときに笑顔とともに弾んだ声で挨拶を返してくれる子どもも増えてきました。6年生は、このひと月を振り返っても、様々な場面で最高学年としての立場や役割を意識した言動が見られ、自分たちが全校を支えて引っ張っていく、リーダーとしてみんなをまとめていくなど、気概や意気込みも感じられます。

過日、児童会の代表委員会がありました。「児童会のテーマを決めよう」という議題についての話し合いでした。4月の運営委員会が中心となって提案された、「学校づくりの目指す姿」をスローガンとして表そうという意図の下、3年生以上の各学級の代表による会議の議題です。話し合った結果、「あいさつの種をまき、みんなとかかわり合いながら、笑顔の花を咲かせよう」という児童会のテーマが決まりました。人と人とかかわり合うための第一歩が「あいさつ」であり、挨拶ができることで、人とかかわりも深まっていくのではないかとこの考え方を大事にしたいという意見をもとに、笑顔でいられることは楽しく仲よくなれることであり、笑顔がいっぱい咲き誇る川上小であってほしいという子どもたちの思いや願いが込められたテーマです。

今後このテーマを踏まえて、委員会や学年・学級の取組として、どのような活動があるかというよい考え、活動計画が具体化されることとなります。「やらされているから仕方なく」ではなく、また、「毎年やってきているから、当たり前のこととして今年も取り組む」でもなく、「こんな学校、こんな姿がたくさん見られる学校にしたいから」ということを活動の根拠とし、「何のために」という目的が強く意識され、「何をするか」をしっかりと考えようとする姿を期待したいと思います。月に一度の代表委員会で話し合われる議題は様々です。話し合いの中で、「何をするか」の前に「何のためにするか」が丁寧に掘り起こされ、活動の目的を明確にして、活動の質を保ち続けていこうとする本校の教育活動へのこだわりが、子どもたちにも浸透してきていることが、川上小の風土として磨かれているようでもあり、私たち教職員も嬉しく思いました。

丁度5年前の5月の連休中に、時代は平成から令和に移りました。「令和」という新しい時代に生きる子どもたちですが、「美しく心を寄せ合うなかで文化が生まれ育つ」という新元号に込められた思いや願いは、コロナ禍に見舞われた状況もあって、なかなかすぐには受け止められないかも知れません。しかし、川上小での学びづくりや生活づくりが、自分たちの手で仲間とともに築き上げられ、「優しく温かい繋がり」を通して、川上小のよいところや大事にしてきたことを引き継いだり、新たに発見したりすることで、「令和」の元号に託された思いには、今の自分たちの思いと繋がる思いがあると、いずれは感じ取れる子どもたちになってほしいと思います。

「集団づくり」「仲間づくり」が大事なこの時期、学校では縦割り班やペア学年での活動もスタートしました。子どもたちが楽しみにしている5月27日(土)の大運動会でも、「優しく温かい友達や仲間とかかわり(美しく心を寄せ合う姿)」が見られ、「川上小のよさが、校風や伝統として引き継がれている姿(文化が生まれ育つ姿)」と捉えられたとき、縦割り活動を基盤とした本校の運動会が、「令和」に込められた思いや願いに繋がる特色ある活動として価値付けられるのではないかと思います。川上小の日々の生活づくりが、これからも引き続き、「何をするか」よりも「何のためにするか」を大切にしながら積み重ねられていくことを願って止みません。これまでの時間、そしてこれからの準備に要する時間や取組も含めて、本年度の運動会から、子どもたちがどのような学びを得ていくかが楽しみでもあります。

本校の「縦割り活動」では、多様な人とかかわり合い方を学ぶこととなります。異学年集団による活動を通して、それぞれの違いを受け止めてお互いのよさや強みを認め合い、助け合うことの大切さや感謝の気持ちをもって学校生活を創り上げていく方策として、異学年交流は本校の学校づくりの柱であると捉えています。運動会が新しい自分づくりとともに、集団づくり、仲間づくりの第一歩となり、それぞれの立場や役割の下に、「自分ができること」「自分がやらなくてはならないこと」などを自覚し、行動することによって、これからの川上小の学びづくりや生活づくりを進めていく力を身に付けていく大きな機会となることを願うばかりです。縦割りグループでの活動を通して、確かに成長していく子どもたちの姿が見られるよう、教育活動の充実に努めて参ります。

明日からいよいよゴールデンウィーク期間となります。ご家庭や地域での、普段はなかなかできない共有体験や団欒のひとつときは、子どもたちにとっても、かけがえのない時間でもあります。保護者の皆様には、お子様とともに楽しい時間を過ごしていただき、連休明けに、子どもたちが運動会練習に自信と意欲をもって臨めるよう、心と体のリフレッシュをお願いいたします。